

は
が



穴粟50名山のひとつ地元の大甲山(1035m)に市外からの参加者も加え約70名が無事頂上に到着

快晴の4月12日(日)、齊木自治会で「ええむらつくろく開村祭」が開催されました。
「齊木ええむらつくろく実行委員会」は自治会の役員と公募による委員の50名で昨年7月に結成されました。「歴史文化部会」「むらおこし部会」「自然保護部会」に分かれ、いろいろなアイデアを出し合い、開村祭の実行委員会や登山道の整備、「チャンチャ」踊り音頭のまとめ、「川裾祭」催場整備などの活動に取り組まれています。

齊木をええむらに！ 開村祭に250人参加



齊木米で作ったお餅の餅まきに歓声！



齊木自治会は平成20年度から5年間、国の「農山漁村地域力発掘支援モデル事業」の指定を受け活動されています。

開村式に先立ち、午前中は「大甲山」登山。正午からの開村式では百円カレー、「名水」の利き水、地元加工品の試食販売、ミニコンサートなど、「齊木」に関係する多彩なイベントが行われました。最後は餅まきで締めくくりました。
藤原喜志夫会長は「地域力(地域資源と人材)を発掘し、ふるさとを活性化していきたい」と笑顔で話されました。自分たちの力で「ええむらつくろく」という協議会の今後の活動に期待します。
(波賀支部 谷口朱美)

ち
くさ



少しずつでも毎日続けることが大事

あじさいの日を「待って待っておるんじゃ」「みんなに会えるのがうれしーいんじや」と利用者の声。お弁当を食べながら話に花も咲きます。

あじさいクラブも3年目を迎えました。あじさいの咲く頃にスタートしたので、あじさいクラブと利用者の方が命名されました。あじさいクラブは、「介護保険を利用するほどではないけど、ちよと体力も落ちてきた」「日中は一人だし、近所に話相手もおらん」「閉じこもりがち」というような方が対象で、月2回エーガイヤちくさで実施している特定の介護予防教室です。



今日一日で半月分も笑うたね

筋力や体力の低下を少しでもおさえるため手足や口、頭の体操に取り組み、時には保健師さんの健康講話を聴き体力測定もします。昔とった杵柄(きねづか)を思い出しながらお団子作りを楽しんだこともあります。
参加者のいきいきとした笑顔を見るのがなによりとスタッフ。「元気でね」「また来るでな」が合言葉となっています。
(千種支部 小原志のぶ)

あじさいクラブ ってなんじやろ？ 介護予防事業のひとつ

